

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

2. 製品構成

- ・コントローラ(緑3左) 1個
- ・12ピンハーネス 1セット
- ・光センサユニット 1個
- ・パワーリレー 1個
- ・オートライツイッチ 1個

3. 配線方法

白12ピンコネクタ

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	常時電源+へ接続。
③ 緑	スマート出力。車両のライツイッチ裏スマート線へ接続。
④ 紫	スマートが+コントロールの場合は、②赤線、-コントロールの場合は、①黒線へ接続。
⑤ 緑／白	ヘッドライト出力。車両のライツイッチ裏ヘッドライト線へ接続。
⑥ 紫／白	ヘッドライトが+コントロールの場合は、②赤線、-コントロールの場合は、①黒線へ接続。
⑦ 白	接続なし。
⑧ 橙	ACCまたはIGへ接続。
⑨ 茶	付属のオンオフスイッチを接続。スイッチの片方はアースへ接続。
⑩ 灰	接続なし。
⑪ 黄	スマートスイッチ入力。車両のライツイッチ裏スマート線を切断したスイッチ側へ接続。 (純正ライツイッチ連動機能を使用する場合のみ接続)
⑫ 桃	接続なし。

青2ピンコネクタ : 光センサーを接続

白2ピンコネクタ : 未使用

桃2ピンコネクタ : 未使用

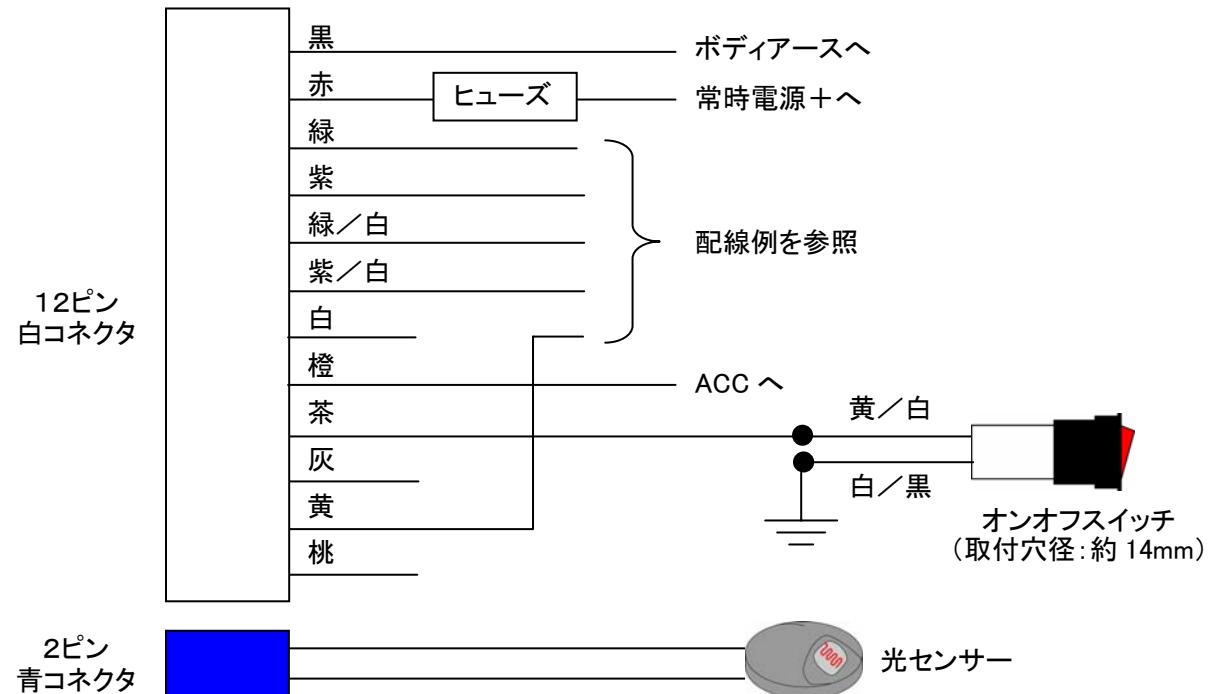
4. DIPスイッチの設定方法

コントローラの小窓を開け、中のDIPスイッチで各種設定を変更できます。
設定変更は、必ずコントローラからコネクタを抜いて行って下さい。
通常配線の場合は、設定しなくても使用できます。



DIPスイッチ	設定項目	ON	OFF
3	スマート極性 (紫線の接続先)	- (アース)	+
1・2・4・5	未使用		

基本結線図



12ピン
白コネクタ

2ピン
青コネクタ

光センサー

■光センサーの設置方法
フロントダッシュボード上に設置し、センサー部が室内に向くようにして、外部光が直接センサーに当たらないように設置して下さい。

1. 使用方法

オートライト機能をオンにする

- 純正のライトスイッチをオフにして下さい。
- 茶線に接続しているオートライトスイッチをオン(ー)にして下さい。
- 暗くなると自動的にスマートモード → ヘッドライトが順に点灯します。明るくなるとヘッドライト → スマートモードが順に消灯します。

オートライト機能をオフにする

- 夜間にスマートモードやヘッドライトを消灯させる場合は、オートライトスイッチをオフ(○)にして下さい。

ライト消し忘れ防止機能

- オートライトがオンの状態で、ACC(IG)をオフにすると自動的にライトが消灯します。

純正ライトスイッチ優先機能 (⑪黄線接続時に有効)

- 純正ライトスイッチをオンにすると、自動的にオートライトがオフになります。純正ライトスイッチをオフにすると再びオートライトがオンになります。
- 信号待ち等で簡単にヘッドライトのみを消灯できます。

トンネル検知機能

- トンネルのように急激に暗くなった場合は、スマートモードとヘッドライトが同時に点灯します。

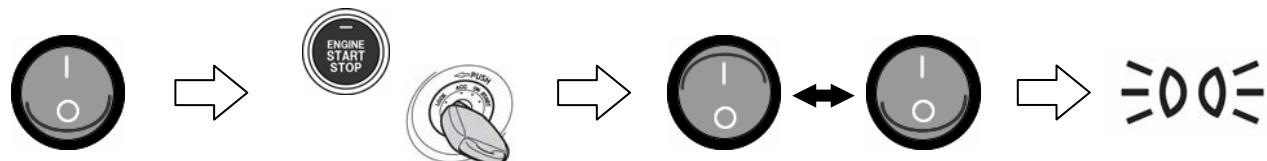
【H4バルブの車両への注意】

H4バルブの車両の場合、オートライト中はロービーム固定になる車両があります。ハイビームを使用する場合は、必ずオートライトスイッチをオフにし、純正のライトスイッチをヘッドの位置にし、ディマースイッチを使用して下さい。オートライトをオフにせずにハイビームにすると、バルブが故障する可能性があります。純正ライトスイッチ優先機能が有効の場合は、純正ライトスイッチをオンにすると、自動的にオートライトがオフになります。

2. 設定方法

感度(ライトが点灯する明るさ)を変更する

- ACC(IG)オフ時に、オートライトスイッチをオンの状態からオフ→オン(1回)→オフ→オン(2回)→オフ→オン(3回)を3秒以内に行って下さい。車両のスマートモードが点滅し、設定が変更されます。
- スマートモードが点滅した回数でどの設定に変更されたかが分かります。
- 設定は、「やや暗い」→「暗い」→「明るい」→「やや明るい」→…の順に切り替わります。



①オートライトスイッチをオンにする。

②車両の電源をオフにする。

③オートライトスイッチのオフ→オンを素早く3回繰り返す。

④スマートモードが点滅し、点滅回数でどの明るさに変更されたかが分かります。

スマートモード点滅回数	1回	2回	3回	4回	
点灯する明るさ	明るい	やや明るい (初期設定)	やや暗い	暗い	
感度	良い	← →			鈍い

配線検査方法

配線検査は、初期設定のまま確認して下さい。

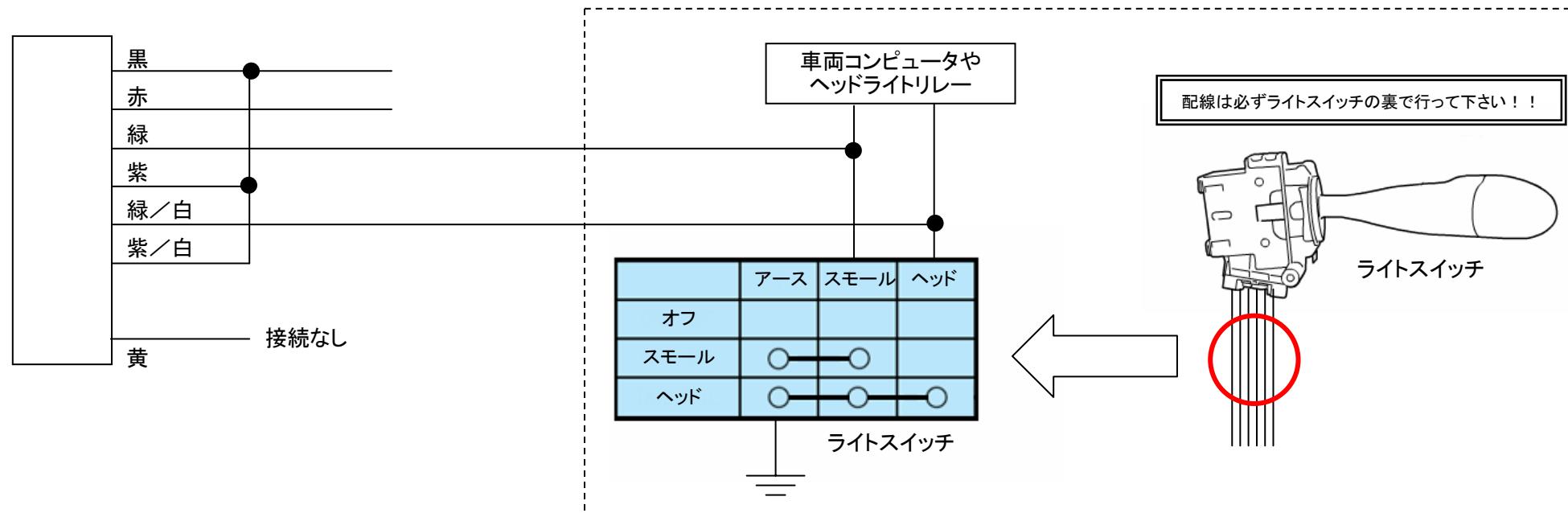
手動でセンサーを覆って検査を行う場合、トンネル検知機能によりスマートモードとヘッドライトが同時に点灯することがあります。

手 順	正 常	異 常	原因・備考
1 コネクタを挿す。	スマートモードが一瞬点灯し、その後ヘッドライトが一瞬点灯する。→ 2へ。	リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2 ACC(IG)をオンにし、光センサーを徐々に手で覆う。 【通常配線】→ 4へ。 【純正ライトスイッチ優先配線】→ 3へ。	スマートモードとヘッドライトが点灯する。 【通常配線】→ 4へ。 【純正ライトスイッチ優先配線】→ 3へ。	全く反応しない。	⑧橙線、⑨茶線、スイッチのアースの結線不良。
		スマートモードが点灯しない。	③緑線、④紫線の結線不良。
		ヘッドライトが点灯しない。	⑤緑／白線、⑥紫／白線の結線不良。
		明るい状態でもスマートモードとヘッドライトが点滅しない。	光センサーが接続されていません。
3 センサーを覆った状態で、純正ライトスイッチでスマートモードをオンにする。	ヘッドライトが消灯し、スマートモードのみが点灯する。 → 4へ。	ヘッドライトが点灯したまま消灯しない。	⑪黄線の結線不良。 DIPスイッチ3の設定が違う。
		明るい状態でもスマートモードが点滅しない。	車両のスマートモード線が切断されています。
4 オートライトを使用する。		スマートモードやヘッドライトが点灯するタイミングが遅い(早い)。	オートライトの感度の設定を行ってください。

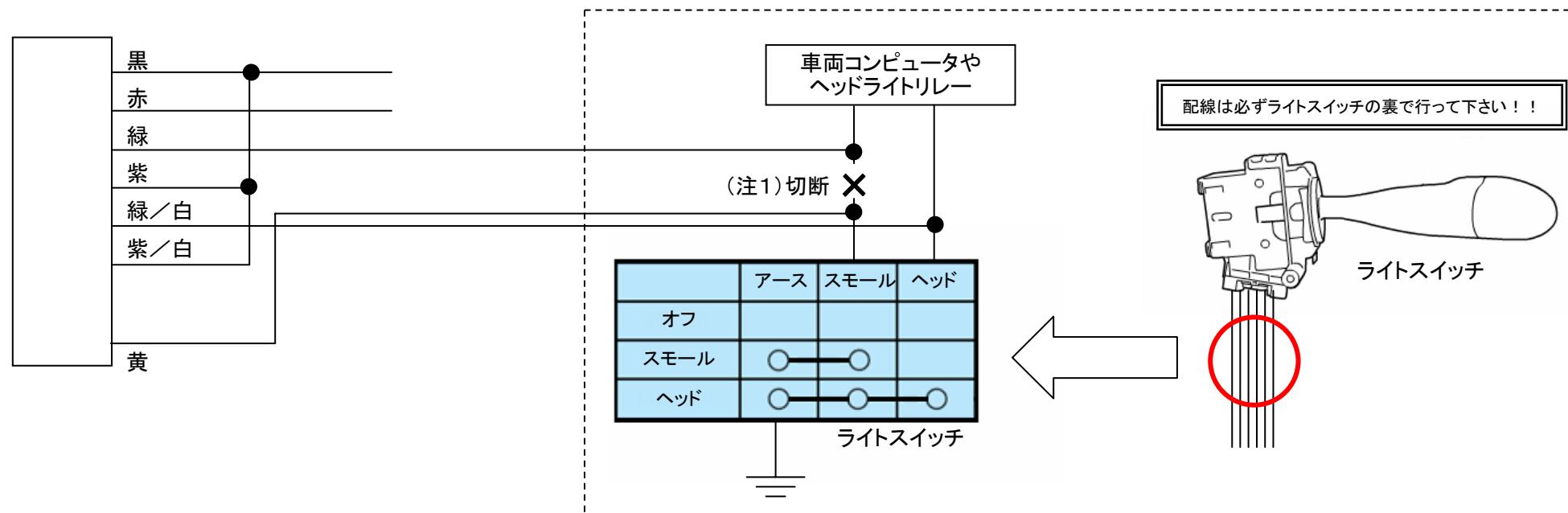
配線例1 【 パワーリレー不要・スマール(ー)・ヘッドライト(ー) 】

- 車両にヘッドライトリレーが付いている車両の配線方法です。
- 配線例の紫線はスマールがーコントロール(スマールを点けた時にアースとつながる)の場合です。+コントロールの場合は常時電源へ接続して下さい。
- 配線例の紫／白線はヘッドライトがーコントロール(ヘッドライトを点けた時にアースとつながる)の場合です。+コントロールの場合は常時電源へ接続して下さい。

【通常配線】



【純正ライトスイッチ優先配線】



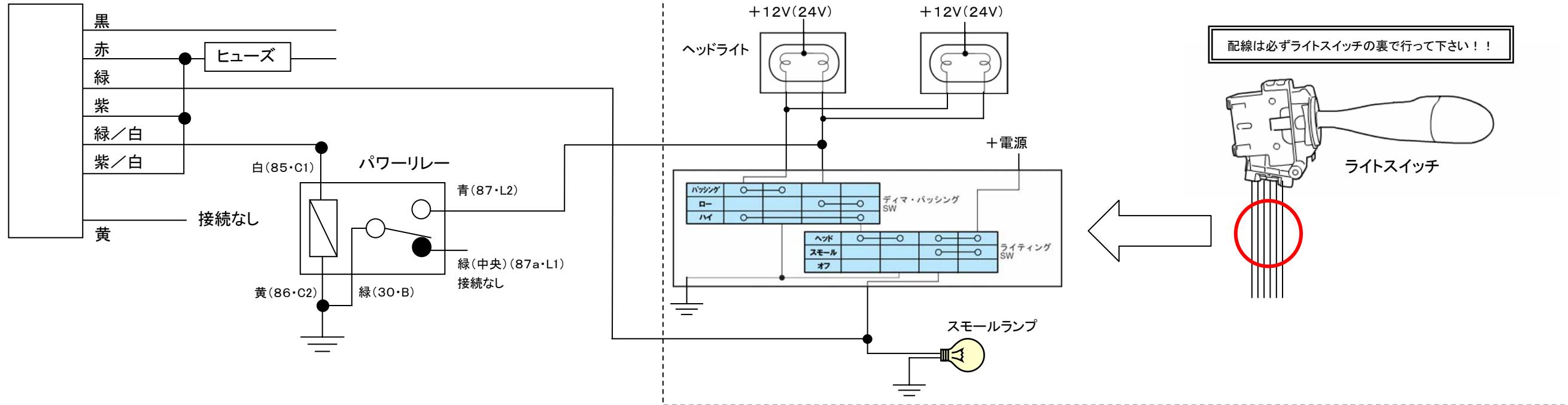
(注1) 向きに注意!!
ライトスイッチ側に黄線、その反対側に緑線を接続。

■ DIPスイッチ
DIPスイッチ3をスマールの極性に応じて変更して下さい。この例の場合はーなので、ONにして下さい。

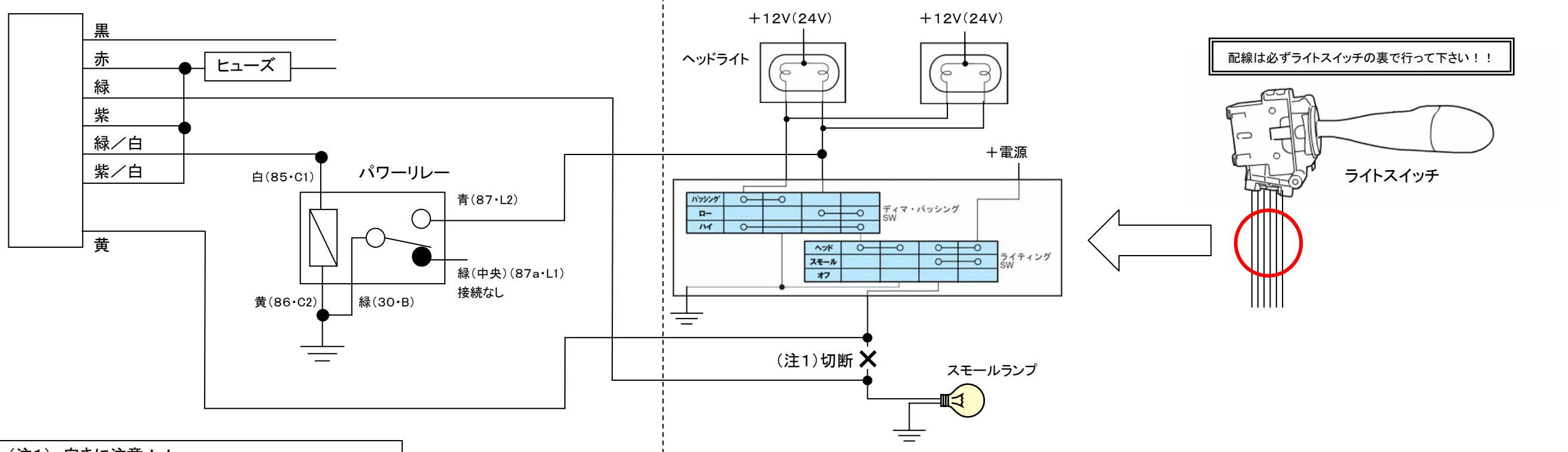
配線例2【パワーリレー必要・スマール(+)・ヘッドライト(-)】

- 車両にヘッドライトリレーが付いていない(ライトスイッチとバルブが直接つながっている)車両の配線方法です。
- 配線例の紫線はスマールが+コントロール(スマールを点けた時に+電源とつながる)の場合です。一コントロールの場合はアースへ接続して下さい。
- 配線例のパワーリレーの緑線(30・B)は-コントロール(ヘッドライトを点けた時にアースとつながる)の場合です。+コントロールの場合は常時電源へ接続して下さい。

【通常配線場合】



【純正ライトスイッチ優先配線】



- DIPスイッチ
DIPスイッチ3をスマールの極性に応じて変更して下さい。この例の場合は+なので、OFFにして下さい。